

松山市民病院 病児保育 アイビー通信

第14号 令和3年12月発行

落ち葉が冷たい風に舞う季節となりました。風邪をひきやすいこの時期、インフルエンザの流行にも注意したいですね。特に年末年始は生活リズムが乱れて体調を崩しがちです。

手洗い・うがいはもちろん、出来るだけ人ごみを避けるなど予防対策を心がけ、楽しく元気に冬を過ごせるようにしましょう。

冬の過ごし方（配慮するポイント）

〈室内の環境〉

暖かい空気は部屋の上部にたまるため、子どもと同じ姿勢になって、室温を確認します。室温は20℃から23℃くらいを保ちましょう。

暖房時には、湿度調整も必要です。加湿器を使って40～60%に調整しましょう。

加湿器がない場合は、濡れたタオルを室内に干しておくとも効果的です。

湿度調整により、鼻やのどの粘膜が乾燥せず、風邪予防にも役立ちます。

1～2時間おきに窓を開けて、こまめな換気も忘れずに行いましょう。

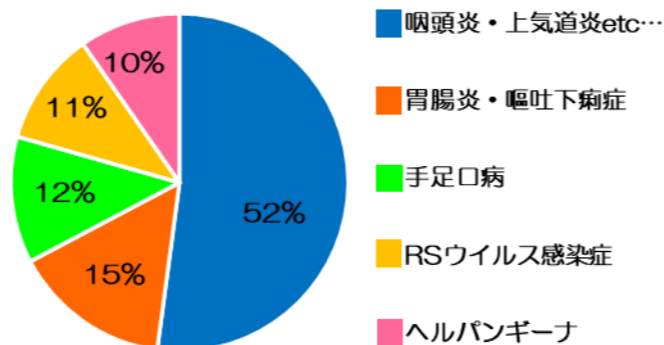
アイビーでは特に睡眠中の温度・湿度を確認するため、温湿度計を子どもの横に置き、適切な環境を整えています。



年末年始のおしらせ

12/28（火）～1/4（火）
病児保育アイビーはお休みです
1/5（水）より利用できますので
よろしくお願いします

利用状況(R3.9～R3.11) 延べ 184人



いざというとき、すぐに利用できるよう
事前に登録されていると安心です。

受付時間 平日 8:00～18:00

〒790-0067
松山市大手町2丁目1-3
松山市民病院 病児保育アイビー
TEL 089-968-1319（直通）

身近な事故に気を付けよう！！

小児科医師より



新型コロナウイルス感染拡大により、ステイホームが長く続いた影響で、昨年からの家庭内で起こる子どもの事故が増えています。家庭内で起きる事故のほとんどは予防可能です。注意点をまとめました。

〈赤ちゃん時期〉

- ① クーハン(ベビーキャリア)は、持ちそこなって落とし、骨折・頭蓋内出血などの事故が多いです。
- ② 寝返りがうてない時期でも、ベッドやソファからの事故は少なくありません。柵がない状態のところに寝かせないようにしましょう。うつぶせ寝は乳幼児突然死との関連があるので、やめましょう。
- ③ ベッド柵とマットレスの隙間がないように注意を。顔をはさんで窒息することがあります。



ベビーベッドの柵は必ず上げる

〈乳児・幼児期すべての年齢で〉

- ① 手の届くところに、タバコ・化粧品・薬品・洗剤・電池等を置かないようにしましょう。特に何でも口に持っていくことが多くなる乳児期から誤飲事故が多くなります。
- ② 浴室のドアは閉めましょう。ハイハイができる時期になれば、浴室に入り、誤って浴槽に転落する事故が増えます。溺水事故も増えます。
- ③ 幼児のおやつとしてピーナッツ・こんにゃくゼリーはやめましょう。誤嚥して窒息する危険があります。
- ④ 歯ブラシ・割りばし・フォークを口にくわえたまま走ったりしないように注意しましょう。
- ⑤ ストープ・ファンヒーターなど熱源を子どもの周囲に置かないようにしましょう。やけどに注意を。
- ⑥ ベランダ・窓際に踏み台となるようなものを置かないようにしましょう。
- ⑦ 子どもを自動車の中に一人で置いておくことは絶対にしないようにしましょう。
- ⑧ 幼い姉・兄に妹・弟の面倒を任せないようにしましょう。兄・姉が抱っこして落としたり、お世話をするつもりが、物を顔面に落とすなどの事故が報告されています。

誤嚥させないための予防方法



子供の口の大きさは

約4cm

トイレトペーパーの芯の直径とほぼ同じ

直径約4cm

実際の大きさ(3.9cm)

この丸より小さいものは誤嚥する可能性があるため、子どもの手の届かないところに保管するようにしましょう

